EXPO2025 JPO-WIPO AWARD 受賞スピーチ

株式会社竹中工務店

この度は、EXPO2025 JPO-WIPO AWARD 気候変動部門において栄誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。株式会社竹中工務店の村上と申します。竹中工務店を代表して、心より御礼申し上げますとともに、一言ご挨拶をさせていただきます。

弊社は1610年の創業以来、400年以上にわたり「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」という経営理念に基づき、社会の発展に貢献してまいりました。近年は特に、環境技術＝脱炭素・資源循環・自然共生に注目し、持続可能な社会の実現に向けた技術開発と知的財産活動に力を注いできております。

その中核となる技術が、環境配慮型コンクリート「ECM コンクリート」と耐火集成材「燃エンウッド」です。

ECM コンクリートは、セメントの7割を産業廃棄物である高炉スラグ微粉末に置き換えることで、材料製造時のCO2排出量を6割削減する革新的な技術です。2015年の初適用以来、100件以上のプロジェクトで活用し、6万トン以上のCO2削減を実現しています。

燃エンウッドは、独自の燃え止まり機構により人々に安らぎを与える「木の現し」を実現した耐火集成材で、都市における中高層建物の木造化を可能にします。現在までに20件以上のプロジェクトで4,000立方メートルの木材を使用し、3,000トン以上の炭素貯蔵を達成しております。

弊社の環境貢献に資する特許技術は、大阪・関西万博においても活用されています。ECM技術は「カーボンネガティブコンクリート」の基盤技術として、ワールドメッセ・イベントホール棟の基礎部材に使用されています。また、多くの木造プロジェクトを実現してきた設計・施工における木構造に関する知的財産を結集し、最大の木造建築物である大屋根リングを実現することができました。

これらの知的財産は、1社のみで独占しては社会実装が進みません。環境配慮型コンクリートは、鹿島建設が施工した建物においても活用展開されています。また、大屋根リングについては、大林組・清水建設と木構造に関する知見を共有し共創することで、建設業界が連携して実現することができました。

今後も、我々のみならず、皆様方とともに、2050年カーボンニュートラル社会の実現に向け、技術開発と知的財産活動を強かに推進し、気候変動等の社会課題を解決して、持続可能な社会実現に貢献してまいりたいと思います。

今後とも、よろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございました。